

「主な取組」検証票

施策展開	3-(11)-エ	過疎・辺地地域の振興		
施策	①過疎地域の自立促進と辺地対策の推進			
(施策の小項目)	—			
主な取組	公共県代行事業及び市町村道の整備	実施計画 記載頁	319	
対応する 主な課題	○過疎・辺地地域は、若者の慢性的流出に伴う人口減少、高齢化等が進行し、集落機能の低下や産業活動の停滞などが指摘されていることから、定住・交通条件の整備、地域に応じた産業振興などを図るとともに、社会的サービスや集落機能の維持の持続可能な地域づくりが課題である。			

取組の概要(Plan)

取組内容	地域の生活基盤の強化、地域活性化及び良好な生活環境の確保等のため、過疎・辺地地域の道路新設及び改築等による道路整備を促進する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	過疎・辺地地域の市町村道の整備					→	県 市町村
担当部課	土木建築部 道路管理課						

： 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成26年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
沖縄振興公共投資交付金(道路管理課市町村事業)等	1,791,411 (478,243)	1,261,956 (476,514)	ソーレン線(伊平屋村)、西崎線(与那国町)など、過疎・辺地地域の市町村道の整備を実施	一括交付金 (ハード)
活動指標名			計画値	実績値
—			—	—
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成26年度取組の効果			
順調	過疎・辺地市町村において、生活基盤の強化、地域活性化及び良好な生活環境の確保のため、ソーレン線(伊平屋村)、西崎線(与那国町)など、計27路線の市町村道整備に取り組んでいる。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成27年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
沖縄振興公共投資交付金(道路管理課市町村事業)等	1,845,865 (614,129)	ソーレン線(伊平屋村)、筋阿真南線(多良間村)、西崎線(与那国町)など、計31路線の市町村道の整備を促進。	一括交付金 (ハード)

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

道路施設点検の実施等による計画的・効率的な整備を図るよう市町村に周知するとともに、過疎地域における道路網、災害地避難経路及び公共施設等のネットワーク構築等の優先度を考慮した事業推進のため、事業ヒアリング等において、情報提供や取り組み状況の確認を行った。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
市町村道の道路改良率(過疎・辺地分)	62.7% (22年度)	63.7% (24年度)	増加	1ポイント	63.1% (22年度)
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	平成25年度までに実施した県代行事業を含めて、今後も改良率の増加により、確実に過疎地域の振興や地域づくりに寄与する道路整備が進捗する見込みである。				

取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

- ・過疎・辺地地域は、若者の慢性的流出に伴う人口減少、高齢化等が進行し、集落機能の低下や産業活動の停滞などが指摘されている。
- ・交付金事業の拡充により、過疎地域における事業化に向けた様々な取り組みがなされ、他事業との連携や地域振興に寄与する道路整備の要望がある。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・定住・交通条件の整備、地域に応じた産業振興、社会的サービスや集落機能の維持を可能とする持続可能な地域づくりのため、効果的な道路整備や既設道路の修繕計画の策定と執行体制の構築が必要である。

取組の改善案(Action)

- ・各市町村の他事業とも連携した道路事業が展開されるよう、情報提供に努めると共に、ヒアリング等の機会を活用し、取り組み状況等を積極的に確認して事業効果の発現を促進する。
- ・事業実施市町村からの問い合わせに迅速に対応するとともに、新たな取り組みや類似事例の情報提供を実施する。